

第5回別府市温泉マネジメント計画策定検討委員会 議事要旨

日時：令和6年2月28日（水）14:00～15:30

場所：別府市上下水道局 3階大会議室

1. 開会

2. 議事

- 基本計画等に関する最終協議・確認・承認

<事務局説明>

- マネジメント計画案について説明
- 計画書の最終版は後日メール等で各委員に配付することで説明
- 本計画を委員長から市長へ3月29日（金）に報告することで説明

<主な意見>

- 将来像に示されている「泉質の多様性を維持した安定供給」について、多様な泉質を持つ別府温泉ならではの視点であり、非常に重要なことであると認識している。
- 中長期的な基本計画ができることは非常に大きな一歩である。これから計画を進めていくに当たり、課題を組み込んだ実施計画を策定し、具体的に展開させていくことが重要であるとする。
- 充実した計画が完成したことは評価できる。それを実行していくことこそが大切。
- 未利用湯の有効活用を進めるシステムの構築は非常に重要であり、地下資源の保護と未利用湯の有効利用の両方を兼ね備えた状況が築かれることを目指して、計画を着実に進めていく必要がある。
- 未利用湯を湧出させないことと利活用することを区別して、誤解が生じないように整理するべきである。
- 地下資源が減少している現状では、未利用湯の利活用と地下資源保護は両立できない。
- 温泉に携わる事業者の委員として、鉄輪地区での取組をマネジメント計画でのモデル地区として位置付けるべきではなく、独自の取組として進めるべきではないかと考える。
- 地域の実情に合わせて、需要と供給を最適化することが重要である。
- できるところから進めるという姿勢はその通りであるため、優先順位を明確にし、前倒しして取り組んでいただきたい。
- 地域学習の展開についても、5年後からではなく、もっと早い段階から実施してほしい。総合的な学習として、子どもや保護者に温泉に関する情報を伝えてほしい。
- 取り出した温泉水を地下へ戻すと、地下の温度を下げってしまう可能性があるため、そもそも取り出し過ぎないことが優先である。
- 「モニタリング箇所の拡充」に加えて、温泉の湯量や温度の変化について、市民を対象としたアンケートやヒアリングを定期的に実施することで、実態の把握に繋がるのではないかと。
- 温泉資源状況について、専門家として警鐘を鳴らしてきたが十分でなかった面がある。資源保護の重要性と現状の危機感を多くの人に知ってもらう必要がある。
- 今回の委員会を通じて、別府市温泉マネジメント計画における共通認識が形成されたと認識してもよいか。また、今回の意見を踏まえ最終的に計画をまとめていくものとし、今後は委員長の一任としてよいか。（一同異議なし）

3. 閉会

以上